

芽吹きの中 アカハライモリの卵

寒さもしだいに緩み、だんだんと過ごしやすくなってきました。春といえば、たくさんの花が咲き、新しい命が芽吹く季節です。水族館で飼育している生き物も例外ではなく、多くの新しい命が生まれます。そのなかからアカハライモリを紹介します。

アカハライモリは、水のきれいな池や田んぼに生息する日本固有種で、お腹の赤い模様が特徴です。産卵期の春から初夏にかけて、水草に1粒ずつ卵を生みます。



△アカハライモリ

卵は球状で、まわりをだ円形のゼリーが包んでいます。生みつけられた卵のなかでは、次第に目やエラなどの各器官を形成し、約1か月後に赤ちゃんが誕生します。



△発生中の卵

実はアカハライモリの赤ちゃんは、大人とは異なる姿で誕生します。水中生活に適したエラが発達していて、まるで昔ブームになったウパールーパーのようです。水族館のレクチャーカウンターでは、大人のアカハライモリや卵、赤ちゃんを展示しています。是非、じっくり観察してみてください。

元気っ子しゅうごう

掲載希望は
広報統計係まで

ゆな
優奈ちゃん
(1歳4か月)



パパ・ママより

角谷武雄さん、愛さん
(浜田町)

いつもニコニコ笑顔があり
がとう♡これからも元気に、
すくすく育ってね。

ゆず か
柚歌ちゃん
(6歳)



パパ・ママより

今井新さん、麻紗子さん
(霞浦町)

4月から入学・入園で新生活
がスタート。お友だちをた
くさん作って楽しく通える
といいね！

しづき
詩月ちゃん
(3歳)

ゆう と
悠斗くん
(6歳)



パパ・ママより

柴田浩明さん、暁子さん
(上町)

わんぱくな2人のおかげで
毎日楽しませてもらっていま
す。これからも兄弟仲良く、
元気に大きく成長していつ
てね。

あお い
蒼以くん
(3歳)